



# 2009年3月期第2四半期 決算説明会

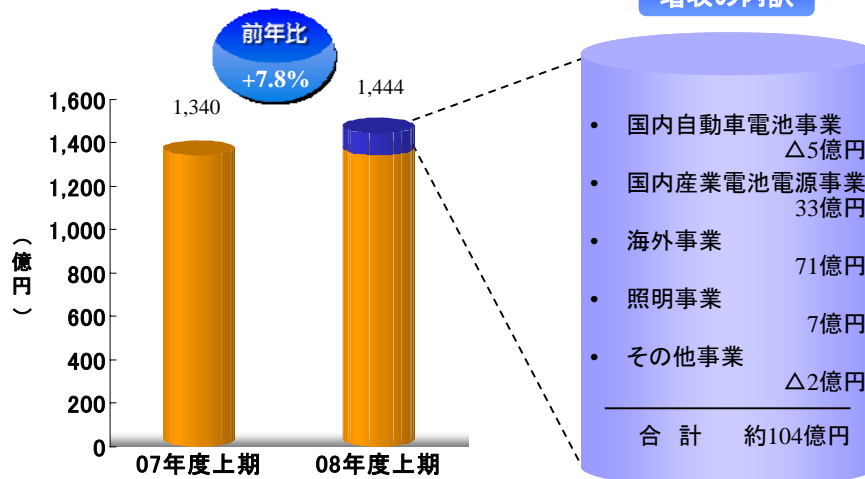
GS Yuasa Corporation  
2008年12月1日

## 目次

- I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)
  - 1. 決算の概要(P/L)
  - 2. 事業セグメント別業績
  - 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
  
- II. 2009年3月期業績見通し(連結)
  - 1. 業績予想(P/L)
  - 2. 事業セグメント別下期課題
  - 3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
  - 4. 第一次中期経営計画の達成見込

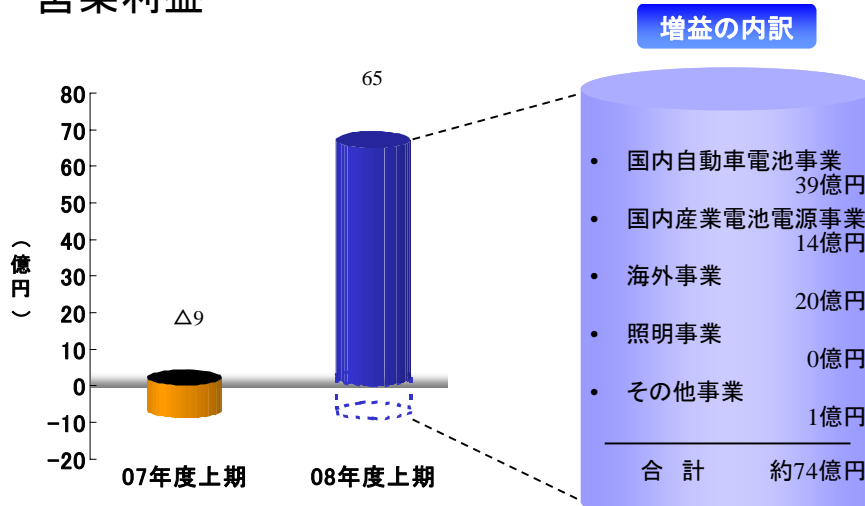
# 1. 決算の概要 (P/L)

## 売上高



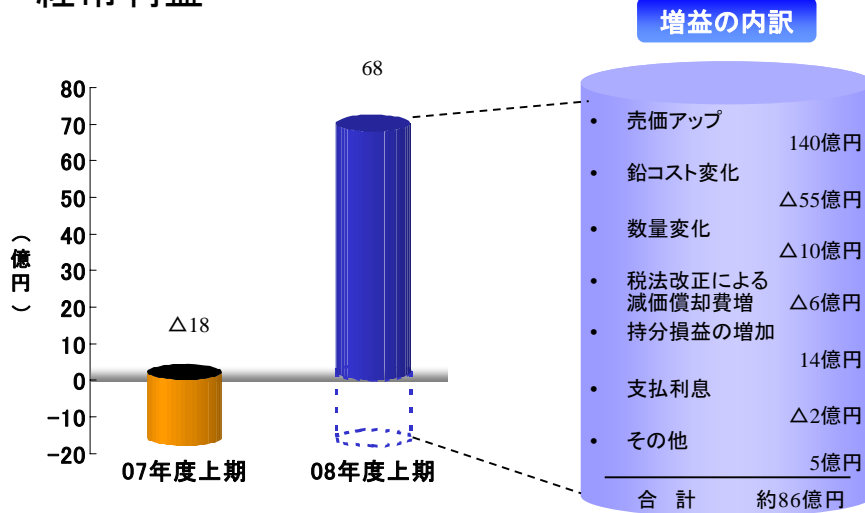
# 1. 決算の概要 (P/L)

## 営業利益



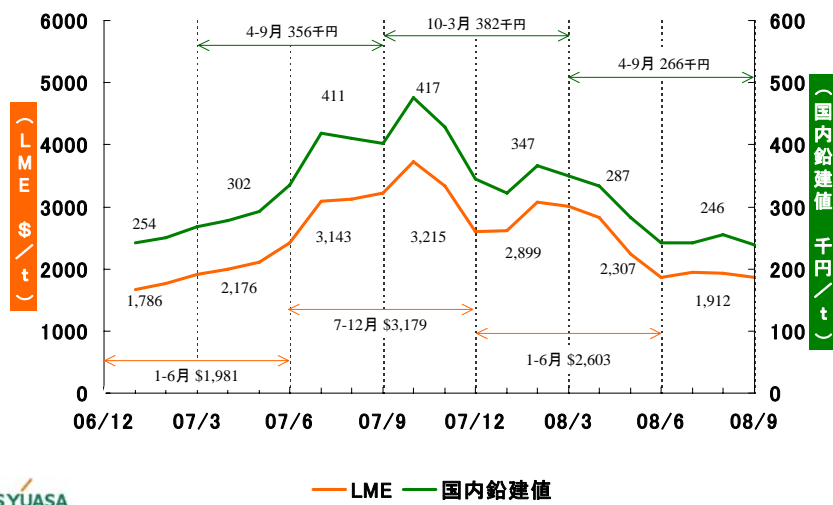
# 1. 決算の概要 (P/L)

## 経常利益



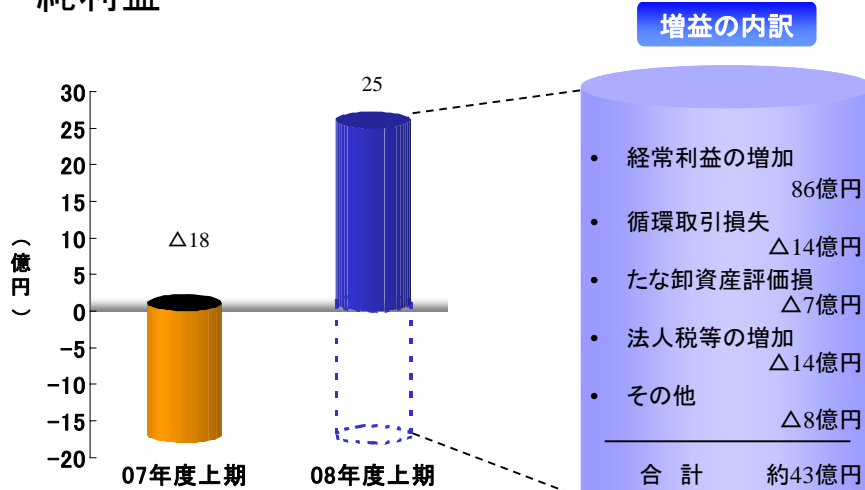
# 1. 決算の概要 (P/L)

## 事業環境 — 鉛価格の急激な変化 —



## 1. 決算の概要(P/L)

### 純利益



## 1. 決算の概要(P/L)

### まとめ

	2007年度上期	2008年度上期	(億円) 増減額
売上高	1,340	1,444	104
営業利益	$\Delta$ 9	65	74
経常利益	$\Delta$ 18	68	86
特別利益	6	2	$\Delta$ 4
特別損失	4	26	22
税前純利益	$\Delta$ 15	44	59
法人税等	23	19	$\Delta$ 4
純利益	$\Delta$ 18	25	43

## 目次

### I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)

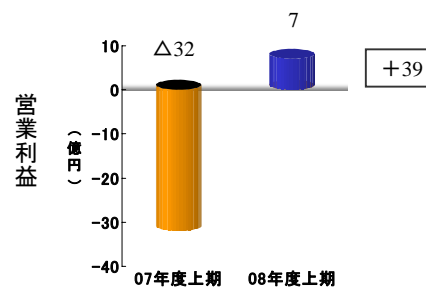
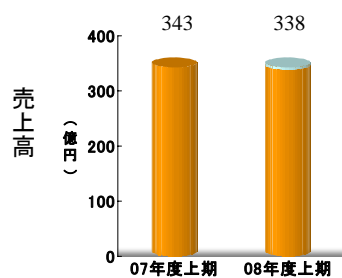
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー

### II. 2009年3月期業績見通し(連結)

1. 業績予想(P/L)
2. 事業セグメント別下期課題
3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
4. 第一次中期経営計画の達成見込

## 2. 事業セグメント別業績

### ■ 国内自動車電池事業 ■



#### 増益要因

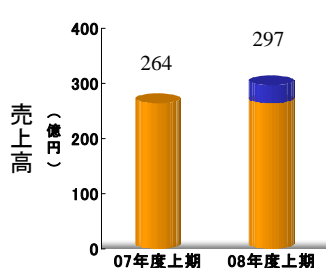
- 売価アップ 50億円
- 合理化・経費削減等 10億円

#### 減益要因

- 鉛コスト変化 △10億円
- 販売数量減 △10億円
- 会計制度変更他 △1億円

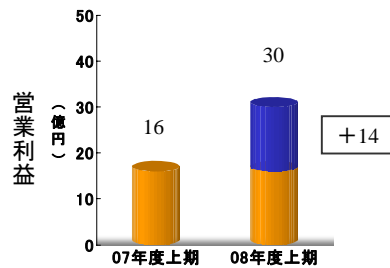
## 2. 事業セグメント別業績

### ■ 国内産業電池電源事業 ■



#### 増益要因

- 売価アップ 20億円

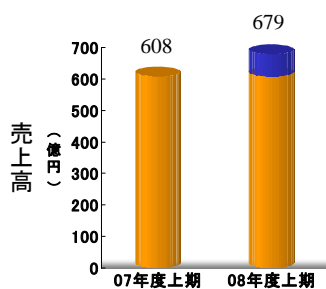


#### 減益要因

- 会計制度変更他  $\Delta$ 6億円

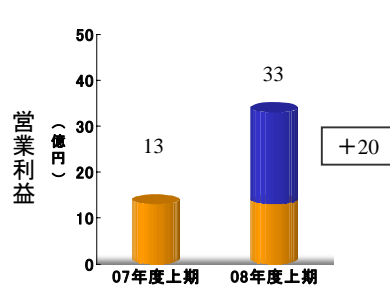
## 2. 事業セグメント別業績

### ■ 海外事業 ■



#### 増益要因

- 売価アップ 70億円



#### 減益要因

- 鉛コスト変化  $\Delta$ 45億円
- 会計制度変更他  $\Delta$ 5億円

## 2. 事業セグメント別事業

### まとめ

(億円)

	国内自動車 電池	国内産業用 電池電源	海外	照明	その他	消去又は 全社	合 計
－ 売 上 高 －							
2008年度 上期	338	297	679	45	85	—	1,444
2007年度 上期	343	264	608	38	87	—	1,340
増減額	△ 5	33	71	7	△ 2	—	104
－ 営 業 利 益 －							
2008年度 上期	7	30	33	1	3	△ 9	65
2007年度 上期	△ 32	16	13	1	1	△ 8	△ 9
増減額	39	14	20	0	2	△ 1	74

## 目次

### I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)

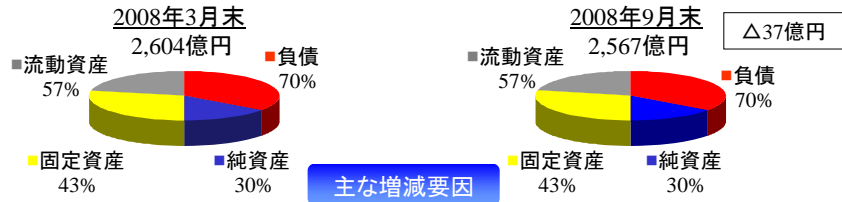
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー

### II. 2009年3月期業績見通し(連結)

1. 業績予想(P/L)
2. 事業セグメント別下期課題
3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
4. 第一次中期経営計画の達成見込

### 3. 貸借対照表(B/S)・キャッシュフロー

#### 資産・負債・純資産



	08年3月末	08年9月末	増減額		08年3月末	08年9月末	増減額
■流動資産	1,480	1,461	△19	■負債	1,823	1,800	△23
・ 現預金の増加			33	・ 買入債務の減少			△93
・ 売上債権の減少			△32	・ 借入金の増加			77
・ 未収入金他の減少			△21	■純資産	781	767	△14
■固定資産	1,123	1,105	△18	・ 当期純利益			25
・ 株式時価下落による減少			△20	・ 配当金の支払い			△18
				・ 株式時価下落による減少			△12

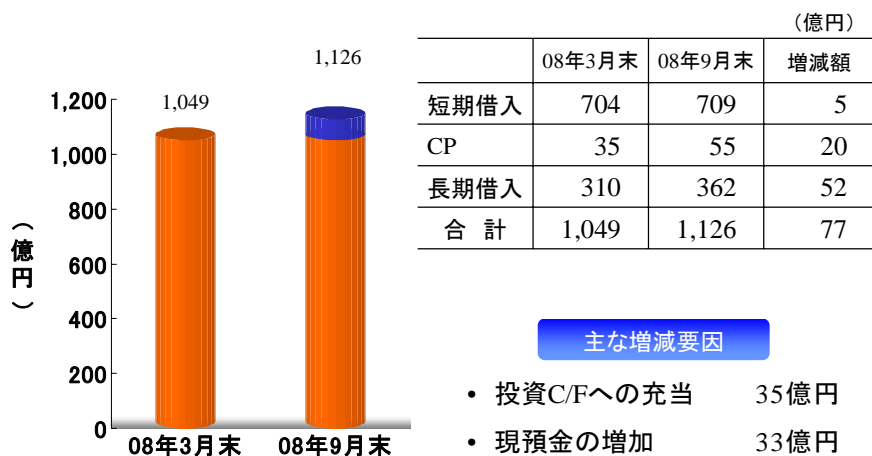


※固定資産額は、繰延資産額を含む

14

### 3. 貸借対照表(B/S)・キャッシュフロー

#### 有利子負債

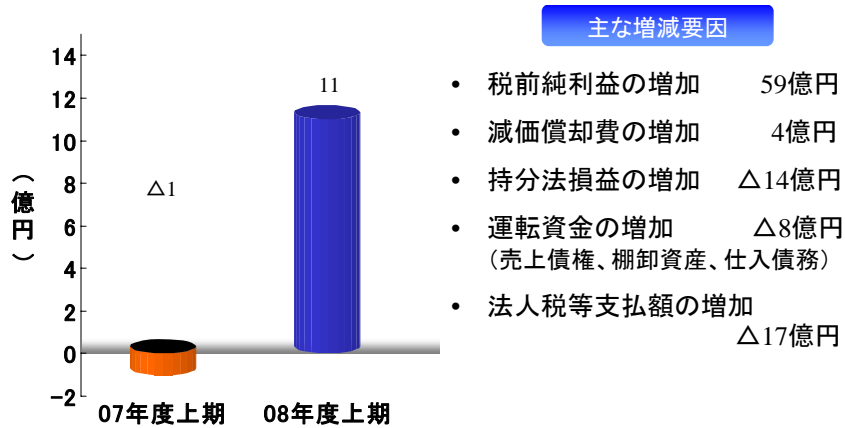


15



### 3. 貸借対照表(B/S)・キャッシュフロー

#### 営業キャッシュフロー



## 目次

### I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)

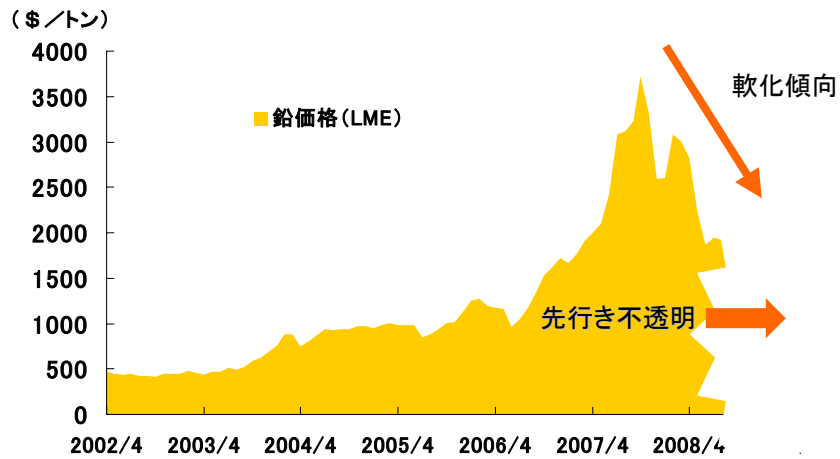
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー

### II. 2009年3月期業績見通し(連結)

1. 業績予想(P/L)
2. 事業セグメント別下期課題
3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
4. 第一次中期経営計画の達成見込

## 1. 業績予想(P/L)

### 事業環境－鉛価格の急激な変化－



## 1. 業績予想(P/L)

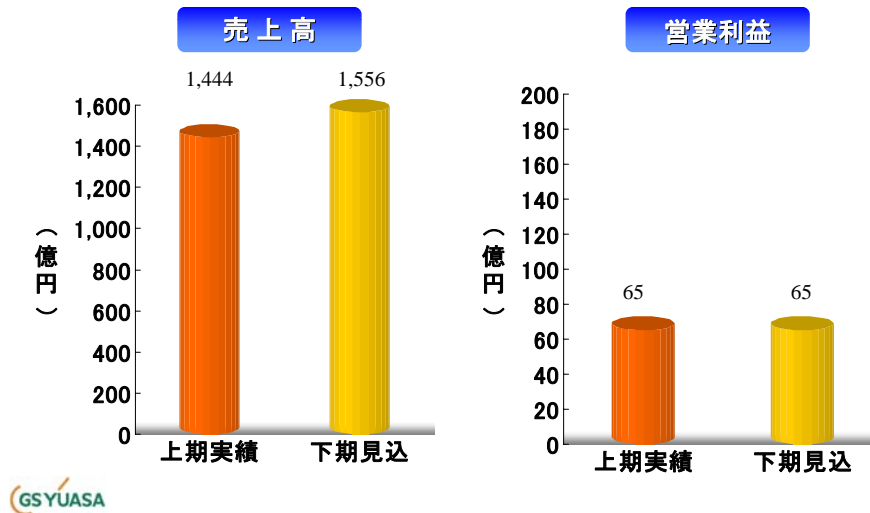
### まとめ

(億円)

	2007年度 (実績)	2008年度 (予想)	増減額 (前年比)
売上高	3,037	3,000	△ 37
営業利益	119	130	11
経常利益	95	120	25
純利益	15	40	25
純利益/株	3.97	10.89	6.92
配当/株	5.00	6.00	1.00

## 1. 業績予想(P/L)

### 売上高・営業利益



## 目次

- I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)
  1. 決算の概要(P/L)
  2. 事業セグメント別業績
  3. 貸借対照表・キャッシュフロー
  
- II. 2009年3月期業績見通し(連結)
  1. 業績予想(P/L)
  2. 事業セグメント別下期課題
  3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
  4. 第一次中期経営計画の達成見込

## 2. 事業セグメント別下期課題

### ■ 国内自動車電池事業 ■

(億円)

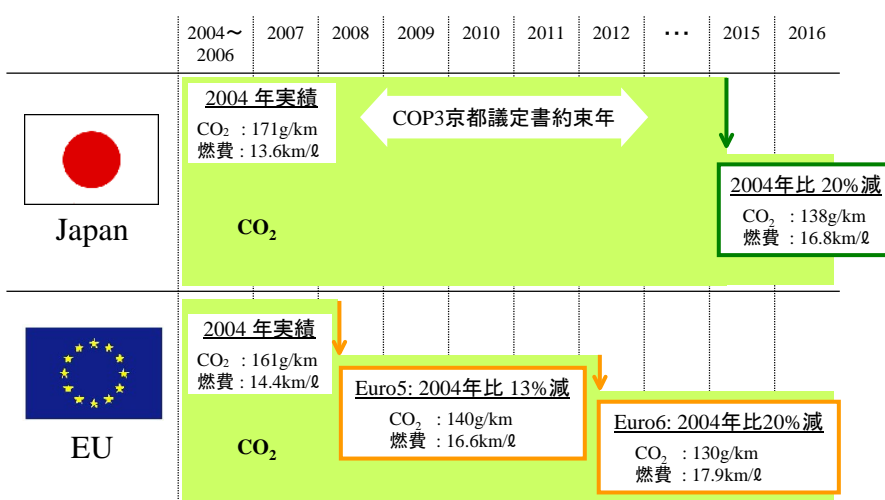
	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	338	402	740
営業利益	7	3	10

- 経営資源の最適化と合理化の促進
- 適正売価の維持・適用拡大
- 「環境・安全・安心」をキーワードとした自社ブランド品の浸透強化



1. CO<sub>2</sub>排出削減、燃費向上効果を実現！
2. リサイクル素材を採用
3. 優れた低温始動性能と高い耐久性

## 自動車の排出規制



## 2. 事業セグメント別下期課題

### ■ 国内産業電池電源事業 ■

(億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	297	373	670
営業利益	30	50	80

- 携帯電話中型基地局向けスイッチング電源の販売拡大  
2008年度より納入開始：目標900局
- 適正売価の維持・適用拡大
- 新エネルギービジネスの取組み  
太陽光発電システム・リチウムイオン電池システムの販売拡大



携帯電話基地局



スイッチング電源



24

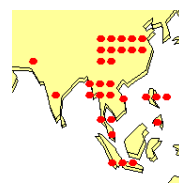
## 2. 事業セグメント別下期課題

### ■ 海外事業 ■

(億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	679	621	1,300
営業利益	33	17	50

- 中国拠点(天津、順徳、広東、無錫等)の連携強化
- アセアン、台湾地域におけるさらなるシェア拡大
- フォークリフト用電池工場の生産開始  
(タイ、09年初旬)



GSユアサのアジア拠点  
10ヶ国31拠点



25

## 目次

### I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー

### II. 2009年3月期業績見通し(連結)

1. 業績予想(P/L)
2. 事業セグメント別下期課題
3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
4. 第一次中期経営計画の達成見込

## 3. リチウムイオン電池事業の進捗状況

### EV・HEV用分野

- 世界初EV用リチウムイオン電池工場稼働へ準備開始
  - ・ リチウムエナジー ジャパンの新工場を滋賀県草津市に決定
  - ・ 本年度中に試験稼働を完了し、2009年度より生産開始
  - ・ 量産開始後、早期に約5倍まで生産能力を増強予定
- HEV用リチウムイオン電池の量産化試作ラインを設置
  - ・ 長田野事業所(京都府)に、研究開発拠点となる新棟を建設
  - ・ 新棟概要:延べ床面積 3,500㎡、総工費 約17億円、2009年春操業予定



リチウムエナジージャパン 新工場



08年10月よりGSユアサで  
実証試験を開始(EV)



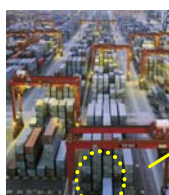
建設中のHEV用研究棟

### 3. リチウムイオン電池事業の進捗状況

#### 産業用分野

##### ■トランスファークレーン搭載用ハイブリッド電源装置に新規採用

- ・コンテナの巻き下げ・減速時のエネルギーを蓄積(回生エネルギー)
- ・巻き上げ作業時に、エンジンをアシスト(ハイブリッド化)
- ・省エネ化と排ガス削減効果をもたらし、環境負荷低減に貢献  
(燃費消費を約6割削減、黒煙排出量の低減効果)



トランスファークレーン



トランスファークレーンに搭載されたハイブリッド電源装置



繰り返し充電可能な電池モジュール(LIM30H-8A)

## 目次

### I. 2009年3月期第2四半期決算(連結)

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー

### II. 2009年3月期業績見通し(連結)

1. 業績予想(P/L)
2. 事業セグメント別下期課題
3. リチウムイオン電池事業の進捗状況
4. 第一次中期経営計画の達成見込

## 4. 第一次中期経営計画の達成見込

第一次中期経営計画の期間：2006年度～2008年度の3年間 (億円)

	2005年度 (実績)	2008年度 (中計)	2008年度 (予想)	達成の見込
売上高	2,434	2,600	3,000	○ 達成
営業利益	57	130	130	○ 達成
経常利益	51	120	120	○ 達成

- 本計画は戦略課題の実現により、目標を達成する見込み。
  - ・ 電池・電源事業における収益基盤の改善(国内外)
  - ・ リチウムイオン電池事業への参入準備
- 次の中期計画では成長分野へ経営資源をシフトし、事業領域の拡大によりさらなる飛躍を狙う。
  - ・ 電池電源事業のグローバル化推進
  - ・ リチウムイオン電池事業の本格稼働

## GSユアサのコーポレートスローガン

# *Next to you*

エネルギー、環境社会での技術革新が進むなか、  
電池技術を通じて社会のニーズに応え、企業価値  
の最大化を追求します。



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
広報室 山本 靖志 ・ 谷川 浩一  
Tel : 075-312-1214  
<http://www.gs-yuasa.com/jp>